

科目名		発達障害治療学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
発達過程作業療法の概要を学ぶ。								
〔授業全体の内容の概要〕								
発達段階を再度確認し、さらに対象疾患も再度復習する。								
発達過程作業療法の流れ、手順などを学ぶ。								
どんな治療をするかを学ぶ。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
発達過程作業療法の流れを理解する。								
各疾患の特徴を習得する。								
回数	講義内容							
1	授業オリエンテーション、発達障害評価学復習							
2	発達障害評価学復習							
3	発達障害領域対象疾患の復習							
4	発達障害領域対象疾患の復習							
5	発達障害領域の治療							
6	発達障害領域の治療							
7	発達障害領域の治療							
8	発達障害領域の治療							
	定期筆記試験							

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
ゴールドマスター 発達障害作業療法学		メジカルビュー社
作業療法評価学	(編) 能登真一	医学書院
【参考テキスト】作業療法学全書 6 巻 発達障害	(編) 田村 良子	協同医書出版

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする
